

# SDGs×北海道セミナー 2023

日時：令和5年2月8日（水）  
15:00～17:30

開場：オンライン（ZOOMを使用）

定員：400名（先着順/2月7日申込締切）

申込：次のURLまたはQRコードからお申し込みください。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sks/SDGs/139331.html>

〔道HP（本セミナー案内ページ）に移動します。  
移動先にある「お申し込み方法」から手続き願います。〕



- 15:00 開会  
15:10 基調講演：環境再生型事業とブランド  
〔(株)Zebras and Company 共同創業者／代表取締役  
(株)ユートピアアグリカルチャープロデューサー 阿座上 陽平 氏〕  
15:45 SDGsに関する取組発表  
〔JICA 北海道、北海道大学、留萌高校〕  
16:40 パネルディスカッション  
17:30 閉会

※各プログラムについては、裏面もご覧ください



北海道大学  
HOKKAIDO UNIVERSITY



主催 北海道 北海道大学 JICA 北海道

※本セミナー「SDGs×北海道セミナー2023」は北海道との包括連携協定に基づく取組の一環として、北海道大学及びJICA 北海道と開催するものです。

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

# 基調講演：環境再生型事業とブランド

あざかみ ようへい

## ■講師 阿座上 陽平 氏



地球環境を配慮する時代から、事業を営みながら再生を目指す時代に。自然環境と共にある農林水産業が持つこれからの時代のチャンスの流れと、それをつかむヒントとして応援されるブランドの作り方をお伝えします。

### プロフィール

○株式会社 Zebras and Company 共同創業者/代表取締役

○株式会社 ユートピアアグリカルチャープロデューサー

メディア企業、デジタルエージェンシーを経て、「BAKE CHEESE TART」などを製造・販売する株式会社 BAKE に従事し成長に貢献するとともに、BAKE 時代より事業を共に作ってきた長沼真太郎氏が立ち上げた ユートピアアグリカルチャーの事業プロデュースを行う。その後、独立し、社会課題の解決と自立的経営の両立を目指す「ゼブラ」の考えに共鳴し、2021年にゼブラアンドカンパニーを創業

## 取組発表①

### JICA 北海道

#### ■城戸 大樹 氏

テーマ：私の持続可能性

#### ■高野 悠己 氏

テーマ：パートナーシップですべての人に健康と福祉を

JICA 海外協力隊として、海外で活動したご経験のあるお二人です。

城戸氏からは、環境教育の職種で、派遣先である東ティモール国内の学校での出張授業、マングローブの植林活動や、帰国後に取り組まれている支笏湖でのカヤックガイド、環境教育の活動等についてお話いただきます。

高野氏からは、派遣先であるパプアニューギニアで、エイズ等の感染症啓発活動に取り組まれたご経験、帰国後、東川日本語学校にて留学生の医療支援や多文化共生事業に携わったご経験についてお話いただきます。

## 取組発表②

### 北海道大学

#### ■浪江 日和 氏（農学院）

テーマ：無肥料・無農薬水田が未来の地球環境を救う！？

-江戸時代に倣う水田農法-

#### ■大江 弘峻氏（情報科学院）

テーマ：AI と IoT を活用したデータ駆動型灯油配送計画の立案

「自分の研究テーマを、もっと沢山の人も知ってもらいたい」、「自分の研究成果を社会に役立てたい」という熱い思いをもつ大学院生のお二人から研究テーマについて発表いただきます。発表を行うのは、「サイエンスフェスタ 2022 研究成果で SDGs に貢献する発表会@チカホ『博士学生が描く、66のミライ』(R4.12.17~18)でポスター展示を行った66人の大学院生の中から選ばれたお二人です。

## 取組発表③

### 留萌高校

#### ■1 チーム目

テーマ：プラスチックゴミの環境への影響や燃えるゴミの埋立施設から見えた課題について

#### ■2 チーム目

テーマ：身近にある風力発電とゼロカーボンについて

高校生が北海道大学と連携し、SDGs やゼロカーボン実現に向けて探究しました。

北海道大学の教授や大学院生から助言を得ながら探究した内容と、市民にSDGs やゼロカーボンにどのようにアプローチするかなど、高校生の視点で2チームから発表いただきます。

## パネルディスカッション

テーマ：私たちの取組がつながる『持続可能な未来』に向けて

パネラー：阿座上氏、取組発表者

世界の社会課題と持続可能性について、世界の叡智が熟考を重ねて2015年にまとめたものがSDGsです。

世界や国内、道内の課題を理解して、解決のための研究、活動、事業を行っているパネリストの活動の共通点を洗い出します。そこには、気づきと行動、そして連携・協働（パートナーシップ）があります。パネリストの活動を振り返り、その気づき、行動、連携・協働がどのように進められたかについて、確認していきます。そして、すべての人が今日から取り組める「Think Globally, Act Locally」について意見交換を行います。